

第34回大琳書道会展

— 荒金大琳と仲間たちの書 —

(特別集録 廣瀬淡窓先生書碑拓本)

第34回大琳書道会展

－ 荒金大琳と仲間たちの書 －

(特別集録 廣瀬淡窓先生書碑拓本)

祝辞



大分県知事 広瀬 勝貞

第34回大琳書道会展代表作家展―荒金大琳と仲間たちの書―が、盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

書道の基本は古典臨書とも言われ、先人の英知を学び、手習いによりしっかりと文字を書く力を養うとともに、身につけた言葉の中から選んだ言葉を自分らしく表現することで性格や個性、人生経験などが現れる人間味あふれる芸術です。

荒金大琳さんは、会員の皆さんが書の古典学習と研究の成果を作品として発表される場として、大琳書道会展を開催されるとともに、幼児から高校生までを対象にした蓮墨展では、丁寧に文字を書く力や、子どもたちが考えた素直な言葉を自由に伸び伸びと表現できる力の両立を目指して取り組まれています。また、大分県書道学会の行事には積極的に協力されるなど、本県書道文化の振興に大きく貢献されており、心から敬意を表します。

大分県では、「安心・活力・発展」を基本理念として、夢と希望の持てる明るく活力にあふれる県づくりに取り組んでいます。中でも、芸術や文化には、地域社会全体を活性化させ、魅力ある地域づくりを推進する力があることから、芸術・文化の振興を新しい県づくりの大きな柱の一つと位置づけ、県民の皆さまの主体的な活動を支援しています。今般、本県芸術文化の振興拠点として、県立美術館を整備することとしたところであり、学校や文化団体との連携・協力のもと、本県の将来の芸術文化を担う子どもたちの感性や表現力を高め、新たな文化を創造してまいりたいと考えています。このような中、本展の開催をはじめとする大琳さんの取り組みは、県政の方針と軌を一にするものであり、まことに心強い限りです。

本展は、大琳さんの45年間に亘る書の古典学習と別府大学での指導が25年に及ぶことを記念して、大琳さんと門人代表作家15人の研究成果が大作品を中心に発表されるとともに、明日を期待する作家5人展として大学生の書も展示されます。また、古典の足跡に学ぶため、日田市に点在する先哲広瀬淡窓の書碑の拓本も展示されると伺っており、書の楽しさや面白さを理解する格好の企画になるものと期待しています。

結びに、本展のご盛会と荒金大琳さんと門人作家の皆さま方の今後ますますのご活躍により、本県書道界の隆盛と数多くの優れた後継者が輩出することを祈念申し上げます。祝辞とします。



荒金 大琳

- ・別府大学文学部国際言語・文化学科書道コース教授
- ・(社)日展会友
- ・(財)毎日書道展審査委員
- ・(社)毎日書道連盟評議員
- ・(社)創玄書道会参与
- ・九州創玄書道会顧問
- ・日本詩文書作家協会参与
- ・大分県書美術振興会理事長
- ・書学書道史学会諮問委員
- ・別府市美術協会副会長・書道部会長

いあいさし

今年が私が書の古典の学習を始めて45年、また別府大学において書の指導を行い始めて25年になります。その間、日本および中国の書の古典の学習を貫いて参りました。この節目の歳に、私が別府鶴見丘高校・別府青山高校等に勤務した際の教え子と、別府大学の教え子たちが結成した大琳書道会は今年で34年を迎えました。現在では彼らも高校の教員や、書塾の指導者、書作家として活動しています。

「草色々 おのおの花の 手柄哉(芭蕉の句)」の様に私は彼らの製作態度を尊敬しています。この際は非、この仲間たちの作品をご観覧の上ご批評いただきたく、掲載いたしました。

また、中央書展でも入賞した別府大学の学生5人の作品も将来を期待して特別に展示し、日田に建立されている「廣瀬淡窓先生の書碑の拓本」も特別集録しました。



芭蕉の句 (135cm×70cm)



不死鳥 (180cm×450cm)

惟人所託磨夫桂生為嶺雲露
 方得法其花蓮出淥波飛塵不
 能汙其葉非蓮性自潔

之辨書

臨集王聖教序

(137cm × 35cm)

巡小宇宙

之辨書

巡小宇宙

(137cm × 35cm)

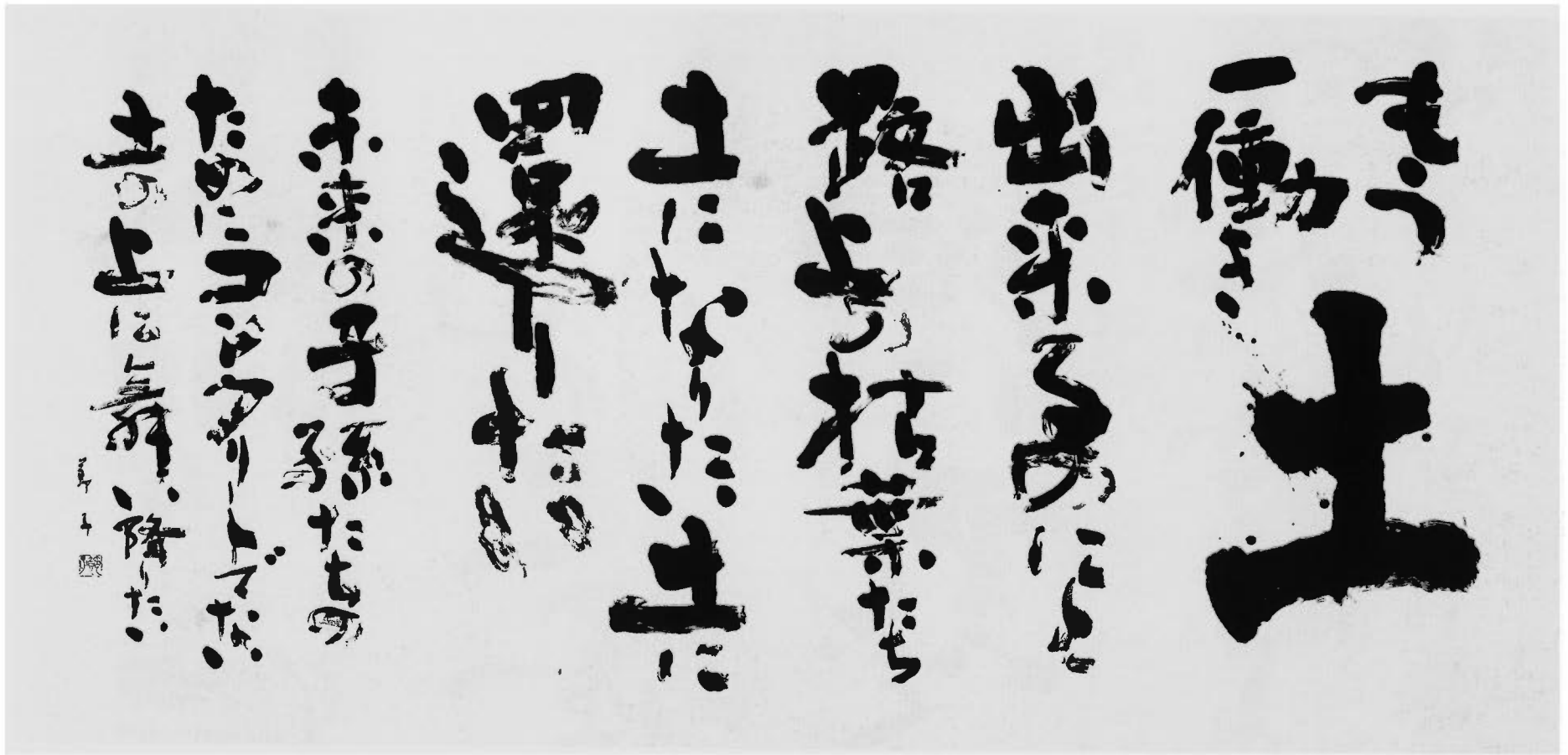
春の君
 おふれ毛の春風に
 揺れ下り
 返る君のほほえみ

春の君 (180cm × 70cm)



(65cm×132cm)

山櫻
薄桃色の
雪洞に
点る
心の
愛らしさ
(文月菜々子)



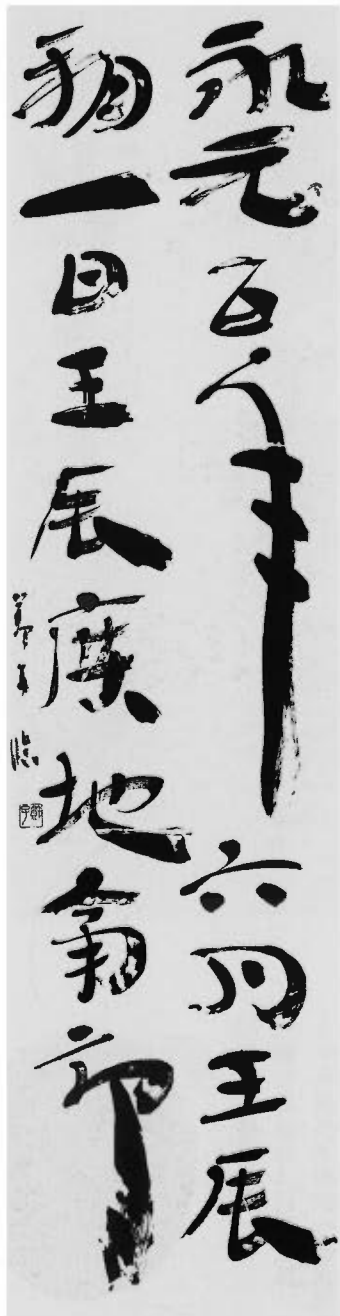
土 (180cm×360cm)



荒金 節子

- ・(財)毎日書道展会員
- ・(社)創玄書道会二科審査員
- ・毎日女流展運営委員
- ・大分県書美術振興会理事
- ・大分県美展書道展無鑑査委員
- ・大琳書道会常任理事
- ・別府市美展審査員

春の芽生え
 夏の青葉
 秋の実り
 冬がきて
 あと一働き
 出来ると
 枯葉たちは
 きっと思っ
 ているだろ
 う
 いつの時
 も
 いま
 生きている
 いま
 出来ること
 しなければ
 いけないこ
 とを
 みつめなが
 ら
 大切な人
 生を
 歩いていき
 たい



(135cm × 35cm)

臨 永元器物簿



知足常樂 (120cm × 120cm)



見上げてごらん夜の星を (180cm×360cm)

- ・(財)毎日書道会会員
- ・(社)創玄書道会二科審査員
- ・大分県書美術振興会事務局長
- ・大琳書道会常務理事
- ・別府市美術協会審査員
- ・大分県教育研究会書道部会副会長
- ・大分県立別府羽室台高等学校教諭



後藤 鶴心

3月11日の大地震と津波で被災された皆さんへ、贈りたいメッセージとして王羲之の宇宙観、人生観の書かれた蘭亭序をイメージしました。



ふるさと再考 (135cm×135cm)



ふるさと情景 (120cm×120cm)

東北の震災を契機に自分の街に一番大切なものを思い、風信帖をイメージしてこの詩を書きました。